

## 一般国道229号冷水橋 ひやみずはし 技術検討会(概要)

函館開発建設部では、架設後62年が経過した冷水橋において、橋梁上部工の損傷や橋梁下部工の損傷、現橋の耐震対策について有識者による検討会を開催し、課題の解消に向けた対策(案)について議論しました。

議論の結果、主な結論として以下のとおり取りまとめました。

○冷水橋は、凍害と塩害の影響により、著しい損傷が発生し、上部工の耐荷力不足、下部工の耐震性能不足が生じており、早急な対策が必要。

○対策案については、補修・補強工法の検討結果を踏まえ、架け替えが妥当。

□開催日：令和3年3月18日(木)※

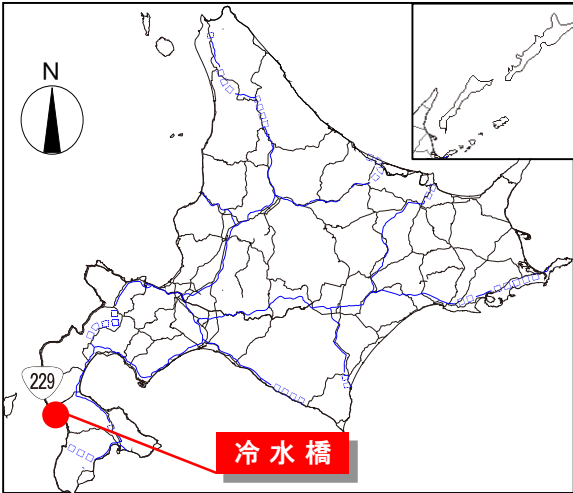
□有識者：澤村 秀治 (函館工業高等専門学校 社会基盤工学科 教授)

小室 雅人 (室蘭工業大学 大学院工学研究科 もの創造系領域 社会基盤ユニット 理工学部 創造工学科 教授)

西 弘明 (寒地土木研究所 寒地基礎技術研究グループ グループ長)

※会議は委員への個別説明により実施

### 位置図



### 現橋の冷水橋の状況(全景)

#### 冷水橋側面(下流側より)



### 現橋の主要な損傷状況



### 平面図

